

### 「平成29年学校教育学部同窓会総会・研修会」を開催

平成29年1月7日（土）に、恒例の同窓会総会ならびに研修会が開催されました。学部の同窓会総会が1月のこの時期に定例開催されるようになり、6年目となる今年は、50名の同窓生、ならびに学長はじめ大学関係者が、兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパス「兵教ホール」に集いました。



今年度の開催は、1・2・11・12・21・22・31期の卒業生が主担当で、司会進行は森田啓之〔1期〕さんが務めてくださいました。総会に先立ち、大石学〔10期〕会長からご挨拶いただき「会員の縦と横のつながりを強化していきたい」とのご挨拶を頂きました。

続く総会はず、山下一〔1期〕さんが議長として選出され、以下の議案について審議がなされました(カッコ内は報告者)。

- 1号議案「平成27年度事業報告」(秋光恵子〔2期〕庶務)
- 2号議案「平成27年度会計決算報告及び監査報告」(森田啓之〔1期〕庶務：監査代理)
- 3号議案「平成29年事業計画(案)」(秋光恵子〔2期〕庶務)
- 4号議案「平成29年会計予算(案)」(森田啓之〔1期〕庶務)



1号議案では、昨年度の規約改正に伴い、会計年度が本年度は変則的であること(本年度のみ平成27年9月1日から平成28年12月31日。来年より1月1日から12月31日までとなる)が報告されました。また、その他の各議案もすべて、拍手をもって原案通り承認されました。



続く研修会では、会に先立って福田光完学長から祝辞を頂戴しました。学長からは、同窓生から校長等管理職が増えてきたこれからこそ兵庫教育大学の教育会での存在感がより強まるであろうこと、大学と同窓生との連携をより強めたいとお言葉を頂戴しました。

研修会では、淀澤勝治准教授(兵庫教育大学学校教育研究

科所属、本同窓会庶務〔2期〕による『教科化の時代の道徳教育』についての講演をいただきました。先生からは、今後の道徳の教科への移行について、道徳の授業がどのように変わるのかを主題にお話を頂きました。まず、国際調査における日本の子供達の現状から学習指導要領における道徳の扱いについて紹介いただきました。次に、教科書の内容について、評価との関係、それらを受けた授業の実際について詳細に解説いただきました。教科書については、どのような教科書が出現し、その教科書をどう扱うのかという問題意識の上で、課題を焦点化してオープンエンドやいじめなどの現代的課題を扱う教材の必要性について述べられました。そして、道徳的判断力が問われ、問題解決的な状況を投げかけてくるような資料に対して検討するというやり方も意識されてくるだろうとのことでした。評価については、予想される文章評価に、こういった評価資料を用いるのかの例や問題点が具体的に紹介されました。また、その評価に関する話の中では、学級経営との連動、子供との信頼関係の重要性について強調されておられました。実際の授業についても、問題解決型学習が中教審答申において提言されていることから、これまでに附属小学校で実践されてきたジレンマ教材を例にオープンエンドの授業をどのように実施するのかについてのお考えなどを示していただきました。



講演の中で、ご自分の小学校における教員生活での経験と長年の実践研究に裏打ちされたエピソードや洞察をご紹介いただき、笑いも交えた非常に興味深い講演でした。

総会の最後には記念撮影が行われ、学長、福本謹一副学長、名須川知子副学長、小熊浩事務局長らとともに、参加した同窓生一同が一枚の写真におさまりました。当日の企画運営におきましては、兵庫教育大学の都道府県連携本部の皆さまに多大なご協力をいただきました。ここに記して御礼申し上げます。

平成30年の同窓会総会・研修会は、3・4・13・14・23・24・32期の卒業生が中心となって担当し、平成30年1月6日(土)に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスで開催する予定です。今年にも増して多くの同窓生が集うことを願っております。

